

国立印刷局は、日本銀行券をはじめ、官報、旅券、郵便切手、証券類など、国民生活に密着した公共性の高い製品の製造を、独立採算により自律的に運営している組織です。

国立印刷局における工場マネジメントに関する地道な取組は、民間企業にも広く活用できるノウハウであることから、埼玉県下の企業様との意見交換等を通じて、社会貢献を目指しています。

ご関心のある企業様は、お気軽にお問い合わせください。

1 業務改善活動

国立印刷局では、創業以来150年以上にわたって業務改善活動に取り組んでおり、多くの民間企業よりも長い歴史と経験を有しています。

国立印刷局の業務改善活動は、品質の安定化、安全性の向上、作業の効率化を図ること等を目的とした、個人やサークルによる取組です。

これまでの業務改善活動の状況を論文にまとめ、日本工業リアル・エンジニアリング協会(IE協会)が発行する論文誌に投稿したところ、特に優れた内容と評価され、「第53回日本IE文献賞(改善賞)」を受賞しました。



昭和初期の業務改善活動



現在の業務改善活動



現在の業務改善活動



日本IE文献賞授賞式

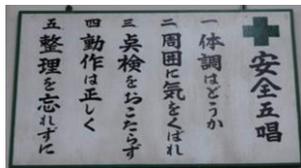
2 安全衛生管理

安全衛生管理に関する地道な取組は、長年にわたる無災害記録の樹立として結実し、厚生労働省から表彰を受けました。

【彦根工場】

厚生労働省から「第4種無災害記録(1320万時間)」として表彰〔令和3年〕

平成16年6月20日から約20年にわたり無災害を継続中。



作業者全員による「安全唱和」



転倒災害予防研修



第4種無災害記録表彰

3 セキュリティ管理

日本銀行券(お札)をはじめとしたセキュリティ性の高い製品を製造している国立印刷局では、厳格な現物管理を行っているほか、工場敷地・建物の内外に必要度に応じたセキュリティ・レベルを設定し、入退室管理を徹底しています。

また、重要な情報が格納されるコンピュータへのアクセスには、入退室管理のほか、コンピュータのロック解除に静脈認証を用いることで情報漏洩を防いでいます。



入退室管理(ICカード)



静脈認証を用いたアクセス管理

4 公務員倫理の順守

これまで築き上げてきた信頼を次の世代へと引き継ぐべく、国立印刷局に勤務する国家公務員として、職員全員がより高い倫理観と強い責任感を持って行動しています。

5 環境保全活動

日本銀行券(お札)の用紙を製造する製紙工程では、多くの水を必要とすることから節水に努めるとともに、使用後は排水処理設備で適切に処理しています。

また、温室効果ガス排出量削減に向けて、現在、7つの機関に太陽光発電装置を導入するなど、各種取組を推進しています。



排水処理設備



太陽光発電装置

【本件に関する問い合わせ先】

独立行政法人 国立印刷局

総務部 総務課 総務係

TEL 03-3587-4613(直通)

E-mail soumu-kikaku@npb.go.jp